

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-40743

(P2004-40743A)

(43) 公開日 平成16年2月5日(2004.2.5)

(51) Int.Cl.⁷

H04M 1/21

F 1

H04M 1/21

テーマコード(参考)

B 5K023

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号

特願2002-225391 (P2002-225391)

(22) 出願日

平成14年6月28日 (2002.6.28)

(71) 出願人 502279009

寺山 光男

埼玉県所沢市下富864番地21

(72) 発明者 寺山 光男

埼玉県所沢市下富864番地21

F ターム(参考) 5K023 AA07 MM16

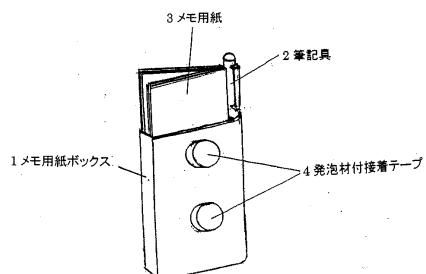
(54) 【発明の名称】電話機用メモ用紙ボックス

(57) 【要約】

【課題】従来は、受信時に、筆記具とメモ用紙を、都度探して、メモをしていたが、それ等を揃えるのに、苦労した。

【解決手段】コードレス電話機に、筆記具とメモ用紙の入ったメモ用紙ボックスを、装着させた。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

メモ用紙ボックス(1)に、筆記具(2)及びメモ用紙(3)を入れ、発泡材付接着テープ(4)で、コードレス電話機(5)に装着して、メモを取るためのボックスである。

【発明の詳細な説明】**【0001】****【発明の属する技術分野】**

この発明は、主に、コードレス電話機で受信時に、メモを取ることに関するものである。

【0002】**【従来の技術】**

特に類似するものは無し。

【0003】**【発明が解決しようとする課題】**

受信時に、メモが必要な時、傍に筆記具やメモ用紙が無くて、それ等を揃えるのに苦労する場合が多くあった。

本発明は、これらの欠点を除くために、なされたものである。

【0004】**【課題を解決するための手段】**

メモ用紙ボックス(1)に、筆記具(2)及びメモ用紙(3)を入れ、発泡材付接着テープ(4)で、コードレス電話機(5)に装着。

本発明は、以上のような構成よりなる、メモ用紙ボックスである。

【0005】**【発明の実施の形態】**

以下、本発明の実施の形態について説明する。

(イ) メモ用紙ボックス(1)に、筆記具(2)及びメモ用紙(3)を入れる。(ロ) メモ用紙ボックス(1)を、発泡材付接着テープ(4)で、コードレス電話機(5)に装着させる。

(ハ) 筆記具(2)は、落下を防ぐため、クリップ付とした。

メモ用紙(3)は二つ折りにすることにより、紙面の弾力で、落下を防ぎ、二つ折りにすることにより、ボックス巾の倍の紙面を確保し、メモを取り易くした。接着テープ(4)は発泡材を付けることにより、コードレス電話機の背中の曲面に対応することができる。

【0006】**【発明の効果】**

メモ用紙ボックスが、コードレス電話機に装着されているので、受信時にメモが必要な時、いつでも、どこでも取れる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の斜視図である。

【図2】本発明のコードレス電話機への装着図である。

【符号の説明】

1 メモ用紙ボックス

2 筆記具

3 メモ用紙

4 発泡材付接着テープ

5 コードレス電話機

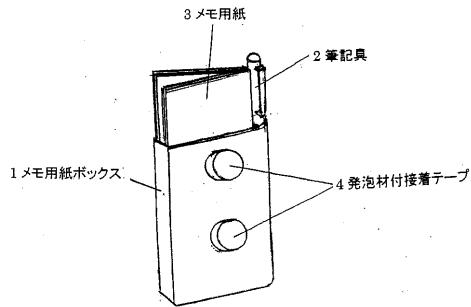
10

20

30

40

【図1】



【図2】

